

第4章 自走化に向けた取り組み

第1節 人材育成事業の施策一覧

1. 商品開発支援

分類	講習内容	No	実施離島	詳細	参加人数	実施日付
商品 開発 支援	【民具作り講習】 チガヤ工房 代表：砂川利枝	1	池間島	【材料】月桃 【制作物】月桃プレスレット	10名	令和2年 10月31日
	【民具作り講習】 星工房 星公望、星璋子	2	座間味島	【材料】クバ 【制作物】ナベシキ、模型（馬）	12名	令和2年 11月30日
		3	石垣島 米原地区	【材料】アダン 【制作物】風車、模型（魚）	2名	令和2年 12月9日
	【料理講習】 ローフード マイスター 吉澤直美	4	南大東島	【食材】月桃 【料理】 ・月桃の花を使ったガリ作り ・月桃じゅーしー作り ・発酵活用でジャム作り(砂糖不使用)	11名	令和2年 12月20日
	【星空講習】 宮古島 星空ナビすばる 清崎慎平 清崎昌奈	5	北大東島	【実施概要】 ・望遠鏡の組み立て方 ・望遠鏡の使い方 ・望遠鏡の使用した星空観察 ・星空ガイド体験座学講習	5名	令和3年 1月18日
	【星空講習】 星空案内人 沖縄運営事務局 準案内人：宇久淳子 プラネタリウム操作技師： 福里美奈子	6	多良間島	【実施概要】 ・座学講習（PCアプリを使用した星 空案内レクチャー、安全講習、等） ・野外での星空案内実践講習	4名	令和3年 1月18日
	【エコガイド講習】 がじゅまる自然学校 代表：小林政文	7	与那国島	【実施概要】 ・座学講習（ガイドの心得、等） ・フィールドワーク実践講習	7名	令和3年 1月18日～ 1月19日
		8	久米島	【実施概要】 ・座学講習（ガイドの心得、等） ・島内でのフィールドワーク実践講習 ・特定地域（旧阿嘉集落）での 実践講習	6名	令和3年 3月1日～ 3月2日
【参加人数合計】57名						

第4章 自走化に向けた取り組み

2. 他地域への視察ツアー

分類	実施離島	参加離島	体験内容	参加人数	実施日付
他地域 への 視察 ツアー	本島／本部	伊平屋島	SUP 体験	1名	令和2年 11月10日
	粟国島	座間味島 北大東島 西表島(東部)	星空観察体験	3名	令和2年 12月8日
	西表島	伊是名島 黒島	民具作り体験 ・ススキのほうき作り ・クバの葉を使用したつるべ、 ひしゃく作り	2名	令和2年 3月1日
					【参加人数合計】6名

3. OTA 研修

分類	講習内容	対象	参加離島	参加人数	実施日付
OTA 研修	OTA 掲載促進 のための WEB 事前 個別質問会 【OTA 基礎講習】 20分 【各離島個別質問】 10分／1離島	中級～ 上級クラス	石垣島 南部・米原地区、 渡嘉敷島、西表島 祖納地区・白浜地 区、伊是名島 HY マリン、黒島	7名	令和2年 9月25日
		初級クラス	北大東、与那国島、多良間島、 伊江島、伊是名島 観光協会、 渡名喜島、南大東島、粟国島	10名	令和2年 9月29日
		中級～ 上級クラス	小浜島、西表島 東部、 伊平屋島、久米島	6名	令和2年 9月30日
	OTA 掲載促進 のための WEB 合同研修 【レベルに合わせた OTA 研修】 60分 【質疑応答】 30分	上級クラス	伊平屋島、石垣島 南部・米原地区、 小浜島	4名	令和2年 11月25日
		初級クラス	伊江島、座間味島、渡名喜島、 南大東島、与那国島	5名	令和2年 11月26日
		中級～ 上級クラス	伊是名島 HY マリン、久米島、 粟国島	3名	令和2年 11月26日
					【参加人数合計】35名

第4章 自走化に向けた取り組み

4. 旅行社マッチング

■ WEB 商談

分類	No.	実施旅行社	実施離島	対象事業者	実施日
旅行社 マッチング (WEB 商談)	1	ANA セールス	渡嘉敷島	渡嘉敷自然塾 アイランズトリップ	12月14日
	2	国際旅行社	伊是名島	いげな島観光協会	3月2日
	3			HY マリン	2月25日
	4		伊平屋島	伊平屋島観光協会	2月18日
	5		伊江島	伊江島観光協会	2月24日
	6		渡嘉敷島	渡嘉敷村観光協会 渡嘉敷自然塾	2月26日
	7		座間味島	座間味村観光協会	3月3日
	8		栗国島	栗国村観光協会	3月2日
	9		南大東島	南大東村観光協会	3月3日
	10		久米島	NPO 法人久米島	2月25日
	11		西表島(東部)	motti 西表島	3月3日
	12		西表島(祖納地区)	西表アイランドホテル	2月16日
	13		西表島(白浜地区)	海人の家	3月3日
	14		黒島	島宿南来	3月3日
	15		与那国島	与那国町観光協会	2月24日
	16		石垣島 (南部)	石垣島観光	3月19日
	17		小浜島	星空探検隊なちゅら	3月3日
	18		名鉄観光 サービス	伊是名島	いげな島観光協会
	19	HY マリン			3月12日
	20	渡嘉敷島		渡嘉敷村観光協会 渡嘉敷自然塾	3月22日
	21	西表島(白浜地区)		海人の家	3月26日
	22	石垣島 (南部)		石垣島観光	3月24日
	23	クラブツーリズム (東京事業所)		座間味島	座間味村観光協会
	24	クラブツーリズム (大阪事業所)	石垣島 (南部)	石垣島観光	3月29日
					【実施回数合計】24回

第4章 自走化に向けた取り組み

■現地視察

分類	No.	実施旅行社	実施離島	対象事業者	実施日 (令和3年)
旅行社 マッチング (現地 視察)	1	国際旅行社	伊是名島	いぜな島観光協会	3月16日
	2			HY マリン	3月16日
	3		伊平屋島	伊平屋島観光協会	3月15日
	4		伊江島	伊江島観光協会	3月10日
	5		渡嘉敷島	渡嘉敷村観光協会 渡嘉敷自然塾	3月25日
	6		粟国島	粟国村観光協会	3月16日～17日
	7		西表島(東部)	motti 西表島	3月10日
	8		西表島(祖納地区)	西表アイランドホテル	3月9日
	9		西表島(白浜地区)	海人の家	3月10日
	10		黒島	島宿南来	3月11日
	11		与那国島	与那国町観光協会	3月15日
	12		小浜島	星空探検隊なちゅら	3月11日
					【実施回数合計】12回

※ANA セールスも現地視察実施を予定していたが、東京都の緊急事態宣言発令のため実施不可となった。

第4章 自走化に向けた取り組み

第2節 観光商品開発支援

第1項 目的

希望する離島に専門家を招聘し講習を実施、新しい観光体験商品の造成を行う。また、観光体験商品の実施が可能な人材の発掘・育成を行う機会を提供する。講習実施後、モニターツアーの中でトライアルを実施し、開発した観光体験商品のブラッシュアップを行い、先を見据えた自走化につなげる。

第2項 実施概要

離島コーディネーターにヒアリングし、各離島の要望や状況を加味した上で専門講師を招聘し、観光商品開発講習を実施する。講習実施後は、離島コーディネーターが体験実施マニュアルを作成し、モニターツアーに反映する。作成したマニュアルは希望する離島にも共有し、他離島での体験造成にも繋げていく。

第4章 自走化に向けた取り組み

第3項 実績

①【池間島】民具づくり講習 実施報告

◆概要

【実施日】令和2年10月31日(土)

【開催場所】池間島公民館

【参加講師】チガヤ工房：砂川 利枝 他3名

【参加者】計10名

- ・池間島観光協会 | 1名
- ・池間島自治会 | 2名
- ・池島島内民泊事業者 | 7名

【同行者】事務局1名

◆講習実施の背景

- ・池間島の観光体験商品の充実及び室内体験の造成
- ・島内民泊事業者が提供できる体験の造成

◆実施内容

- ①島あっちい事業について概要説明
- ②月桃プレスレット作り体験概要説明
- ③材料の取り方、材料の用意について
- ④月桃プレスレット作り体験実技講習
- ⑤振り返り意見交換

◆島あっちいのモニターツアー反映時期

12月24日～12月25日 1泊2日

◆モニターツアーでの体験提供者

池間島観光協会

◆モニターツアー反映にあたっての課題

民泊事業者は初めて参加者に月桃プレスレット作り体験を提供するため、不安を感じている。

◆課題に対する改善策

民泊事業者による体験プログラムの実施経験がないため、島あっちいモニターツアー実施時、マニュアル作成等、事務局による体験サポートを行う。

第4章 自走化に向けた取り組み

◆参加者の声

【池間島観光協会】

思っていたより簡単で、また色合いも綺麗で作っていて楽しかった。池間島では用意できない材料などもあるため、引き続き講師と連絡を取り合い、準備物のサポートをしていただく。

【池間島自治会】

民具作り体験の民泊事業者への落とし込みは、池間島自治会としても何度か取り組んでいるが、定着に結びつかなかった。島あっちい事業のモニターツアーでトライアルを行うことにより、民泊事業者のスキルアップに繋がるとよい。

【民泊事業者】

体験としては簡単で、手間もかからず、とても楽しんでできた。今後自分達で体験商品として提供できるようになるまでは少し不安があるが、取り組んでいきたい。

◆活動写真



第4章 自走化に向けた取り組み

②【座間味島】民具づくり講習 実施報告

◆概要

【実施日】令和2年11月30日（月）

【開催場所】座間味村公民館

【参加講師】星工房：星 公望、星 璋子

【参加者】計12名

- ・座間味村観光協会 | 1名
- ・村内ガイド | 1名
- ・阿嘉島民具づくり体験 | 2名
- ・民宿事業者 | 7名
- ・マリン体験事業者 | 1名

【同行者】事務局 2名

◆講習実施の背景

- ・島内で屋外のアクティビティは多いが、屋内の体験商品がないため、悪天候時の代替として屋内体験商品を造成したい
- ・島の資源を活かした体験商品として、民具作り体験を考えているが、島内に体験商品提供者がないため、育成したい

◆実施内容

- ①島あっちい事業について概要説明
- ②民具づくり体験概要説明
- ③材料の取り方、材料の用意の仕方、保存方法について説明
- ④実技講習（クバの葉を使った鍋敷き）
- ⑤振り返り意見交換

◆島あっちいのモニターツアー反映時期

令和3年1月28日、2月6日（屋外アクティビティの代替として検討）

◆モニターツアーでの体験提供者

村内ガイド | 大坪氏

第4章 自走化に向けた取り組み

◆モニターツアー反映にあたっての課題

- ・体験提供ができるようになるまで複数回の練習が必要
- ・練習会を開いて技術向上に努めたいが、新型コロナウイルス感染症の影響で観光協会主催の室内ワークショップ開催が難しい

◆課題に対する改善策

作成したマニュアルを元に、自主練習を行う

◆参加者の声

- ・先生の教え方が丁寧で分かりやすかった。知識も含め、多くのことを教えて頂いたため、体験造成に向けてのモチベーションが高まった
- ・何回も練習を繰り返さないと難しいが、自主練習を重ねていくことで、完成度を上げていきたい
- ・作り方だけでなく、材料の処理方法やポイントなど詳しく教えて頂いた。これをきっかけに、他の植物でも応用して幅を広げていきたい

◆活動写真



第4章 自走化に向けた取り組み

③【石垣島 | 米原地区】民具づくり講習 実施報告

◆概要

【実施日】令和2年12月9日(水)

【開催場所】Jelly Fish

【参加講師】星工房：星 公望、星 璋子

【参加者】計2名

・ Jelly Fish | 2名

【同行者】事務局 1名

◆講習実施の背景

- ・ 現在、屋内でできる体験商品が少なく、民具作り体験商品を造成したいが、島内で教えることができる人がいない
- ・ モニターツアーの雨天時の代替案として屋内体験商品を用意したい
- ・ 親子が楽しめる民具作り体験商品を今回の研修テーマとして設定した

◆実施内容

- ① 島あっちい事業について概要説明
- ② 民具づくり体験概要説明
- ③ 材料の取り方、材料の用意の仕方、保存方法について
- ④ 実技講習（アダンの葉を使った風車と馬、クロツグを使った熱帯魚）
- ⑤ 振り返り意見交換

◆島あっちいのモニターツアー反映時期

令和2年2月27日(土)～2月28日(日) 1泊2日

◆モニターツアーでの体験提供者

Jelly Fish

◆モニターツアー反映にあたっての課題

- ・ 実施時期までに習熟度を高めるため、練習が必要
- ・ モニターツアーへの反映初期はオペレーションに不慣れなことも考慮する必要がある。

第4章 自走化に向けた取り組み

◆課題に対する改善策

- ・研修時に撮影していた動画を共有しているため、動画を見ながら練習する
- ・5名程度の少人数で受け入れ経験を積み、徐々に受け入れ人数を増やしていく

◆参加者の声

- ・想像以上に楽しかった。子供はもちろん、地域の年配の方にも好評かと思います
- ・ひいおばあが生前、手先が器用で金魚など小包のバンドで作ってくれたことを思い出しました
- ・子供向けの熱帯魚は簡単だが、大人向けの編み込むタイプの熱帯魚は難しい
- ・もっと色々なバリエーションを覚えてみたい

◆活動写真



第4章 自走化に向けた取り組み

④【南大東島】月桃料理講習 実施報告

◆概要

【実施日】令和2年12月20日（日）

【開催場所】多目的交流センター

【参加講師】ローフードマイスター：吉澤 直美

【参加者】計11名

- ・月桃工房 | 2名
- ・月桃ムーンピーチ | 1名
- ・JA おきなわ女性部 | 2名
- ・南大東村観光協会 | 1名
- ・南大東村字在所 女性部 | 5名

【同行者】計2名

- ・沖縄県 地域・離島課 | 1名
- ・事務局 | 1名

◆講習実施の背景

- ・南大東島に多く自生している「月桃」の活用方法の一つとして、「月桃を活用した料理体験」を造成したい

◆実施内容

- ①島あっちい事業について概要説明
- ②月桃を活用した料理体験講習
- ③試食・盛り付け講習
- ④振り返り意見交換

◆講習で作った料理について（3品）

- ①月桃の花を使ったガリ作り
- ②月桃じゅーしー作り
- ③発酵活用でジャム作り(砂糖不使用)

◆島あっちいのモニターツアー反映時期（予定）

次年度(8月～11月)想定

◆モニターツアーでの体験提供者（予定）

各婦人会のメンバー

第4章 自走化に向けた取り組み

◆モニターツアー反映にあたっての課題

- ・本講習には体験提供を行う意思のある島民が参加しているが、明確に体験提供者が決まっていないため、講習実施後に決めていく必要がある。

◆課題に対する改善策

- ・婦人会でチームを組み、年間通して提供可能なプログラムにブラッシュアップしていく
- ・各家庭でも実践し、料理のレベルをあげていく

◆参加者の声

- ・月桃の花の盛り付けなど、初心者でも分かりやすかった
- ・月桃の花が料理に活用できるなんて、知らなかった
- ・月桃料理以外にも、パパイアの種が食べられることも知れたことが良かった
- ・炊き込みご飯や、月桃のつぼみを発酵させたものも美味しかった
- ・月桃でも「食べられる部分・食べられない部分」が分かったので良かった
- ・月桃の花が食べられるとは知らなかった
- ・日常の食生活でも取り入れてみたい
- ・講習会の動画を撮影し、体験提供まで勉強用として保有したかった

◆活動写真



第4章 自走化に向けた取り組み

⑤【北大東島】星空ガイド講習 実施報告

◆概要

【実施日】令和3年1月18日(土)

【開催場所】燐鉱館

【参加講師】宮古島星空ナビすばる | 清崎 慎平、清崎 昌奈

【参加者】計5名

- ・離島コーディネーター | 2名
- ・一社) 北大東島振興機構 | 2名
- ・北大東村役場 経済課 | 1名

【同行者】事務局 | 1名

◆講習実施の背景

- ・開発の進んでいない北大東島ならではの観光コンテンツの開発

◆実施内容

- ①島あっちい事業について概要説明
- ②資料を活用した座学講習
- ③動画を活用した座学講習 ※悪天候のため、望遠鏡を使用した実技講習を変更
- ④望遠鏡の組み立て、使い方 実技講習
- ⑤振り返り意見交換

◆島あっちいのモニターツアー反映時期（予定）

令和3年12月頃 ※冬が星空観察に適しているため

◆モニターツアーでの体験提供者（予定）

離島コーディネーター

◆モニターツアー反映にあたっての課題

- ・悪天候のため講習時に実演ができなかったため、体験の実技面に不安の残る結果となった

◆課題に対する改善策

- ・島あっちいでツアー実施時、事務局によるサポートを行う
- ・事務局及び講師側で必要に応じて、電話での相談対応を行う

第4章 自走化に向けた取り組み

◆参加者の声

- ・北大東村で望遠鏡を購入したので、定期的に練習し、必ず商品化に繋がりたい
- ・北大東島は天候が良い日は、満天の星空が広がり、良く写真撮影をしている。本講習を受けてみて、自分も星座や一等星、惑星などに興味を持った。北大東島ならではの観光資源の商品化に繋がられるよう関係者でも協力しながら進める

◆活動写真



第4章 自走化に向けた取り組み

⑥【多良間島】星空観察講習 実施報告

◆概要

【実施日】令和3年1月18日(土)

【開催場所】すまむぬ多良間（多良間村ふしやぬふ観光協会）2階 多目的会議室及び普天間港

【参加講師】那覇市牧志駅前ほしぞら公民館：福里 美奈子、宇久 順子

【参加者】計4名

- ・多良間村ふしやぬふ観光協会 | 3名
- ・多良間観光サービス | 1名

【同行者】事務局 | 1名

◆講習実施の背景

- ・島の特性を活かした新しいコンテンツの開発が必要である
- ・宿泊客を獲得するため「ナイトコンテンツ」に注目した ※1年間実施できるプログラム
- ・観光協会の藤松氏が元「天文部」のため、多良間島での実現性の確度が高い

◆実施内容

- ①フィールド視察：講師が事前にピックアップした実施場所の候補（5箇所）を視察
- ②オリエンテーション：夜の講習の流れなど、事前の確認事項を講師と確認
- ③座学講習
 - ・星空観察講習を実施するための安全講習
 - ・星空観察会の組み立て方及びトレーニングのための参考図書やアプリの紹介
- ④フィールド講習
 - ・座学の実践（講師サポートのもと、観光協会の職員による星空案内）

◆島あっちのモニターツアー反映時期

令和3年2月16日～2月18日 2泊3日

※新型コロナウイルス感染症影響のためモニターツアーは中止となった

◆モニターツアーでの体験提供者

多良間村ふしやぬふ観光協会：藤松 英子

◆モニターツアー反映にあたっての課題

- ・天候不良時の対応
 - ※多良間島としては「中止」を考えているが、講師から「代替プラン」を実施した方が良いとのアドバイス

第4章 自走化に向けた取り組み

◆課題に対する改善策

- ・ 具体策については、藤松氏と講師でやり取りを行う。
※可能であれば講師をサポート役として派遣し、自走化の速度を加速させる方法を事務局で検討

◆参加者の声

- ・ 多くの現場を体験されている、講師と直接話せる機会を頂き大変勉強になった
- ・ 安全面においては、実際に使っているアイテムなどを見られてとても参考になった
- ・ アプリの一覧や参考図書を実際に紹介頂いたので早速ダウンロード及び購入を行いたい
- ・ 星空を見ながら、島民の昔話などをできたらよりファンづくりに繋がるかもしれない
- ・ プロの視点で多良間島の可能性を話して頂いたので、観光商材として自信になった
- ・ 星空マラソンなど、他離島の事例を元に商品化のアドバイス頂けて良かった

◆講師よりフィードバック

①とにかくフィールドが良いので、自走化の商品としては最適

- ・ 緯度が沖縄本島より2度高い→南十字星など見られる星が多い
- ・ ハブがない→安全面を確保できる
- ・ 島の形状が平面的→遮るものが無いので、天然プラネタリウム
- ・ 人工的な明かりが無い→街灯など一度作られると壊せないで、自然を守ることができる
- ・ 多良間の星空がブランディングできれば、街灯などを設置する際に、必要性を考えられる

②代替プランはチャレンジすべき

- ・ 自然現象なので、天候不良は仕方ない。参加者も理解してくれる
- ・ 室内でアプリを使っての観望会や、多良間版の星見表をつくるなど対応を考えるべき
- ・ 星空にこだわらず、参加者に多良間の魅力を伝えたいという真心が一番大事

③離島ならではの演出を考える

- ・ 星空を見ながらの三線演奏や島の方とのゆんたくなど、離島で星を見る魅力を総合的に演出することで、他の地域との差別化ができるのではないか？（新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いた時期）

◆活動写真



第4章 自走化に向けた取り組み

⑦【与那国島】ガイド育成講習 実施報告

◆概要

【実施日】令和3年1月18日(月)～1月19日(火)

【開催場所】与那国町観光協会

【参加講師】がじゅまる自然学校 小林 政文

【参加者】7名

- ・与那国観光協会 | 2名
- ・たんぼぼ流ツアー | 1名
- ・ちまんま広場 | 1名
- ・洞窟探検提供者 | 1名
- ・民宿おもろ | 1名
- ・フラダンス講師 | 1名 (座学のみ)

【同行者】事務局 | 1名

◆講習実施の背景

ガイド実施者がおらず、リーダーとなり得る人材育成のため

◆実施内容

- ①実技講習の下見
- ②座学講習 (ガイドの心得、インタープリテーションについて 等)
- ③実技講習 (洞窟散策 & 島内散策 (ティンダバナ) + フィードバック)

◆島あっちのモニターツアー反映時期

令和3年10月～2月頃

◆モニターツアーでの体験提供者

未定 (与那国観光協会以外の参加者)

◆モニターツアー反映にあたっての課題

- ・実際に体験プログラムを提供する者が決まっていない
 - ・体験プログラムを提供するエリアが決まっていない
- ※講習では、洞窟とティンダバナの散策をもとに、講師が案内の流れを実演したが、実際にそのルートにするかは検討
- ・1月～3月は観光客が増え、宿の手配ができないため、モニターツアーを実施していないため、ツアーの反映が次年度となる

第4章 自走化に向けた取り組み

◆課題に対する改善策

- ①講習後、与那国町観光協会が主催して参加者を再招集し、具体的な体験プログラムを相談する場を持つ。
- ②提供プログラムと提供者決定後、島あっちのモニターツアーに盛り込む前に、参加者同士で散策するエリアを実演するなど、練習を積むことが必要。

◆参加者の声

- ・これまで、参加者の「意識や行動を変容させる」という視点がなかったため、もっとレベルの高いガイドを実施していきたいと考える機会になった
- ・具体的な展開力を持った講習会で参考になった
- ・講師のガイド実演を通して、参加者としてガイドの楽しさを実感した
- ・急な飛び入り参加したが、知らない参加者同士の繋がりができて良かった
- ・ガイドの在り方・印象が変わった。他のガイドツアーにも参加してみたい
- ・一人では知り得なかった知識を得ることができた。もっと告知して参加者を増やしたい

◆活動写真



第4章 自走化に向けた取り組み

⑧【久米島】ガイド育成講習 実施報告

◆概要

【実施日】令和3年3月1日(月)～3月2日(火)

【開催場所】NPO 法人くめじま会議室、ホテル館、阿嘉公民館、旧下阿嘉集落

【参加講師】がじゅまる自然学校 小林 政文

【参加者】計6名

- ・離島コーディネーター | 1名
- ・真謝集落ガイド | 1名
- ・ホテル館 | 1名
- ・阿嘉集落自治会 | 1名
- ・久米島馬牧場 | 1名
- ・久米島シュノーケリング悠久 | 1名

【同行者】事務局 | 1名

◆講習実施の背景

- ・現状保有している体験は「環境学習観点で久米島全体を伝える機会」が不足している。
- ・久米島の自然環境や保全活動について、座学形式での学習体験の造成・座学講習で学習したガイドの実践
- ・安全性が低い地域での体験造成についての可能性の検討機会の創出

◆実施内容

1. 動画や資料を活用した久米島環境学習についての座学体験造成

【参加者】計3名

- ・ホテル館 | 1名
- ・離島コーディネーター | 1名
- ・真謝集落ガイド | 1名

2. 旧下阿嘉集落での実地講習（環境保全観点、安全観点を取り入れたフィールドワーク）

【参加者】計6名

- ・離島コーディネーター | 1名
- ・真謝集落ガイド | 1名
- ・ホテル館 | 1名
- ・阿嘉集落自治会 | 1名
- ・久米島馬牧場 | 1名
- ・久米島シュノーケリング悠久 | 1名

第4章 自走化に向けた取り組み

◆実施内容

- ①ガイドの心得、環境保全観点を取り入れたガイド手法について座学講習
- ②環境保全観点を取り入れた座学体験造成 & 久米島景勝地フィールドワーク
- ③旧下阿嘉集落でのガイド実地講習
- ④講師よりフィードバック、事業者同士での意見交換

◆島あっちのツアー反映時期

令和3年3月6日、3月13日（座学形式の学習体験）

◆体験提供者

・ホテル館（動画や資料を活用した座学形式の学習体験）

◆ツアー反映にあたっての課題

- ①「大人向けの座学体験」について経験不足であること
- ②実際のツアー反映予定時期について、講習実施から日が短いため、質の担保に不安があること
（もともとツアー造成を行っており、当初実施予定だった体験の内容を今回講習した内容に変更したため、講習実施から実際の体験提供時期まで日が短い結果となった）

◆課題に対する改善策

実際の体験実施前に、本番を想定した実践練習を可能な限り回数を重ねて実施する。

◆参加者の声

- ・ガイドを行う上で必要な観点や考え方を学ぶ良い機会になった。
- ・希望していた体験の造成について、講師に観点を教えて頂く事で、質の高い体験が造成できた。今回学んだ環境保全や安全についての観点を、今後の取り組みにも繋げていきたい。
- ・体験やコミュニケーションを通して、お客様の満足度を高める重要性が分かった。
- ・集落散策の体験造成を行う際には、地域の方々皆さんの意見を反映し、体験を作っていく
- ・必要あると感じた。
- ・普段行っている体験実施方法を考え直す良い学びの場になった。
- ・ガイドを実施しているグループでの体制やルール作りについて重要性を感じた。
- ・講習を通して、久米島の観光振興に繋がる目的に向かうための、組織としての体制やルール作りは現状の課題であり、重要な事だと感じた。今後の久米島の方向性も含め、今後の体験実施や各事業者で組織的にまとまって動いていくのか、等、今後の実施観点について、考え方の違う事業者同士で向き合っていく必要があると感じた。
- ・今後の体験造成を行う上で、学びや再認識を得ることができた貴重な機会だった。

第4章 自走化に向けた取り組み

- ・本講習でエコツーリズムの考え方を学ぶいい機会となった。久米島では特に必要な事だと感じた。自分でもできる事を考え取り組んでいきたい。

◆活動写真



第4章 自走化に向けた取り組み

第4項 総括

実績

観光商品開発支援をきっかけに、各離島の観光資源を活かした観光商品の造成に繋がった。今年度のモニターツアー造成実績としては以下となる。

◆実績一覧

実施離島	体験名	反映したモニターツアー	実施日
池間島	月桃プレスレット作り体験	【クリスマスを離島で楽しむ！】 離島の先にある離島：池間島を満喫！月桃プレスレット作り体験&池間島パワースポット巡り 民泊体験付きプラン	令和2年 12月24日～ 12月25日
久米島	久米島ネイチャースタディプログラム	※4つのモニターツアーの体験として実施	令和3年 3月1日～ 3月2日

※他離島も今年度中にモニターツアー反映予定があったが、新型コロナウイルス感染症の影響で催行中止が重なり、実施不可となった。

成果

観光商品開発支援で造成した体験は、8離島中2離島が今年度のモニターツアー内で実施することができた。ほかにも、3離島が1月、2月のモニターツアーで実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりモニターツアーが中止となったため、年度内での実施ができなかった。講習実施後、モニターツアーとして実施できなかった6離島については、次年度での体験プログラムに組み込み、実施していく。観光商品開発支援の大きな成果は、島の観光資源を活かした体験造成に繋がったことである。なかでも昨年度の反省点の改善として、離島コーディネーター、講師、事務局の三者で事前にオンラインでの打合せで講習内容の詳細を調整でき、離島側が求める内容に詳細に応えることができ、ミスマッチを防げたことである。

課題

夏のシーズンは離島コーディネーターが繁忙期のため、日程の調整が難しく、閑散期にあたる10月以降の講習実施を行った。その結果、モニターツアーに反映できる期間が短くなり、次年度に持ち越しとなる離島もあった。本反省点を踏まえ、次年度では6月～秋頃迄に実施を行う。

第4章 自走化に向けた取り組み

第3節 他地域への視察ツアー

第1項 目的

沖縄県内の各地域で実際に行っている体験プログラムを離島コーディネーターが体験することにより、自らの島でのプログラム開発やガイドのスキルアップに繋げ、離島コーディネーターの交流を通じて連携強化を図る。

第2項 実施概要

離島コーディネーターにアンケートでヒアリングを実施、各離島の要望や状況を加味した上で、視察先・体験事業者を決定し、視察ツアーを実施した。

第4章 自走化に向けた取り組み

第3項 実績

①【沖縄本島】マリン体験(SUP)視察ツアー 実施報告

◆概要

【実施日】令和2年11月10日(火)

【開催場所】本部 山川漁港近くのビーチ

【参加講師】SUP Ohana 田口 元気

【参加者】伊平屋島(いへや愛ランドよねざき) | 1名

【同行者】事務局 | 1名

◆視察参加の背景

島あっちいモニターツアーでも既にSUP体験を実施しているが、より良いツアー作りのため、指導者（インストラクター）による指導方法の確認、スキルアップトレーニングを行う

◆視察実施内容

- ・SUPボード、パドルの適切な種類や使用方法の説明
- ・参加者に対し、対応方法の流れを実演

◆視察を通して得たこと（参加者の声）

初めての参加者に対して、陸上でのレクチャーの方法や海上での的確な声掛け、限られたツアー時間の中での内容作りなど、普段自己流で実施していたことを、プロの観点で改めて教えて頂いた。また、ボードやパドルについてなど普段気になっているポイントについても重点的に教えて頂き、今後の体験内容の改善に繋がった。お客様に対して楽しんでいただく事と同時に、分かり易く的確なアドバイスを行う等、今回のツアーで指導者から学んだことを生かしていきたい。

◆島あっちいのツアー反映時期（予定）

令和3年7月～9月

◆活動写真



第4章 自走化に向けた取り組み

②【粟国島】星空観察視察ツアー 実施報告

◆概要

【実施日】令和2年12月8日(火)

【開催場所】粟国島ビジターセンター

【参加講師】粟国村観光協会

【参加者】計3名

- ・座間味村観光協会 | 1名、北大東島コーディネーター1名、西表島(motti 西表島) | 1名

【同行者】計2名

- ・沖縄県企画部 地域・離島課 | 1名、事務局 | 1名

◆視察参加の背景

【座間味島】宿泊型ツアーの造成。既存の体験に加える形で、星空もセットで有料化できるようにしたい。

【北大東島】星空案内を計画しており、実際にどのようなツアーを行っているか経験したい。

【西表島】既にモニターツアーに取り入れている内容だが、他地区の実施内容を見て見分を広げたい。

◆視察実施内容

- ・星空観察の実施マニュアル（粟国村観光協会作成）に沿って体験提供側としての心得
- ・天体写真教室の内容案内（雨天のため、屋外での体験なし）

◆視察を通して得たこと（参加者の声）

【座間味島】天体望遠鏡など初めは敷居の高さを感じていたが双眼鏡と一等星から始めていこうと思う。準備や実施基準など細かく教えていただけて勉強になった。

【北大東島】丁寧な資料をもとに星空について勉強でき大変有意義な経験ができた。

【西表島】これから始める事業者が何を知りたいか、どんな準備をすべきなのかを確認できた。

◆島あっちのツアー反映時期（予定）

【座間味島】令和3年2月27日（オプション無料で実施）

【北大東島】令和3年12月頃

【西表島】令和3年1月9日

◆活動写真



第4章 自走化に向けた取り組み

③【西表島】民具作り視察ツアー 実施報告

◆概要

【実施日】令和3年3月1日(月)～2日(火)

【開催場所】西表アイランドホテル

【参加講師】星公房：星 公望（祖納地区）

【参加者】計2名

- ・伊是名島(HY マリン) | 1名
- ・黒島(ルート黒島) | 1名

【同行者】事務局 1名

◆視察参加の背景

【伊是名島】大変実施してみたいメニューであり、簡単にやっていたが、ワンランク上の技術を学び、普及継承活動をした
い。

【黒島】既存プログラムは雨天荒天時に中止することが多く、天候に左右されない室内型のプログラムを造成したい。

◆視察実施内容

- ・1日目 | ススキのほうき作り
- ・2日目 | クバの葉のつるべ・ひしゃく作り

◆視察を通して得たこと（参加者の声）

【伊是名島】とても良かった。ハイレベルと思っていた技術を分かるまで丁寧に教えていただけたので、早速実施を計画し
たいと思う。

【黒島】黒島にも素材のあるもので作り方を教われたので良かった。

◆島あっちのツアー反映時期（予定）

【伊是名島】次年度すぐ

【黒島】次年度すぐ

◆活動写真



第4章 自走化に向けた取り組み

第4項 総括

実績

モニターツアーの反映は、新型コロナウイルス感染症の影響でツアーが中止となり、今年度の反映には至らなかったが、次年度での反映を目指す。各離島の反映予定時期の纏めは以下の通り。

離島名	体験内容	モニターツアー反映予定時期
伊平屋島	SUP 体験	令和3年7～9月
座間味島	星空観察体験	令和3年2月27日 ※新型コロナウイルス感染症影響のため中止
北大東島	星空観察体験	令和3年12月頃
西表島(東部)	星空観察体験	令和3年1月9日 ※新型コロナウイルス感染症影響のため中止
伊是名島	民具づくり体験	次年度
黒島	民具づくり体験	次年度

成果

視察ツアーを通じて、既存で体験を保有、今後新規で造成する事業者ともに、質の向上に繋げる事ができた。また、コーディネーターが集まって実施することにより、コーディネーター同士の関係性の構築と、双方の知見を共有できるいい機会となった。また、民具づくりについては、次年度すぐにツアー造成を行いたいという意見も上がるなど、参加したコーディネーターの造成意欲も高まった。

課題

次年度の課題として、今年度の実施時期が秋以降となり、年度内でのモニターツアー反映が難しくなった上、離島への渡航が天候に左右されてしまったため、夏季などの早い段階から視察を実施する。また、離島からの要望だけではなく、事務局が把握している情報で、マッチング性が高いと判断した離島同士が視察を行い、相乗効果を生み出せるよう実施する。

第4章 自走化に向けた取り組み

第4節 OTA 研修

第1項 目的

現在の観光市場として、個人旅行型が主流となりつつあり、旅行社でのパッケージ販売のみならず、体験商品のみのWEBでの外部販売を行っていく必要がある。その中で、OTAを活用し、掲載・販売を行う手段の習得が必要となる。各離島の事業者にはOTAに関する基礎知識の向上、掲載方法について講習を実施する事により、体験商品の外部販売数増加に繋げていく。

※OTAサイトとはインターネット上で取引を行う旅行会社、又はアクティビティ予約会社のこと。Online Travel Agentの頭文字の略。

第2項 実施概要

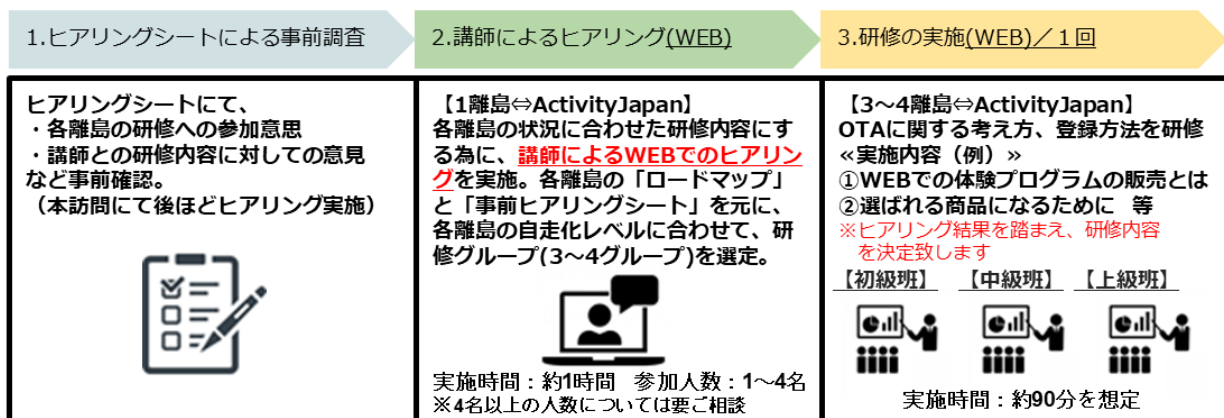
各離島へ、OTAに関しての事前ヒアリングを行い、現在の販売状況、知識レベルを確認。各離島のレベルに沿った講習を実施するため、ヒアリング内容を基に、3段階にレベル分けを行った上で、講習を実施。

講習は、以下2回に分けて実施した。

- ① WEBでの個別質問会（各離島の疑問点や要望を確認した上で、次の合同研修を実施）
- ② WEBでの合同研修

実施イメージ

○本事業の流れ



第4章 自走化に向けた取り組み

第3項 実績

◆OTA 研修実施時の各離島の状態

レベル	状態	対象離島
上級（4地区）	既にOTAに掲載、かつ販売経験がある	伊平屋島、小浜島、石垣島（米原地区）、石垣島（南部）
中級（5地区）	何かしらの形でOTAに掲載経験はあるが、上手く使いこなせていない	伊是名島（HY マリン）、久米島、黒島、西表島（白浜地区）、渡嘉敷島
初級（7地区）	OTAへの掲載・販売経験がない	伊江島、粟国島、座間味島、渡名喜島、南大東島、与那国島、伊是名島（観光協会）

◆合同研修実施内容

レベル	研修実施内容
上級（4地区）	販売力向上（上位表示の方法、SEO対策、検索ロジックなど）
中級（5地区）	OTAの運用、販売力向上
初級（7地区）	OTAの仕組み、登録方法（登録の手順を1からご説明）

◆掲載実績

状態	事業者数	件数
掲載済み	1事業者	2件
掲載予定	8事業者	20件

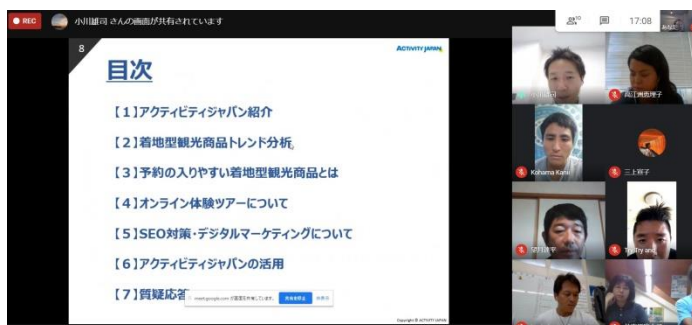
◆講師

株式会社アクティビティジャパン 代表取締役 小川雄司

◆参加人数

35名

◆活動写真



第 4 章 自走化に向けた取り組み

第 4 項 総括

成果

今年度、新規の取り組みとして実施した施策である。16 地区が参加し、OTA の概要について知識の統一を図ることができた。また、知識レベルを分けて実施することにより、今年度掲載に至っていない離島については、OTA への掲載意識の向上と、今後の掲載に対するハードルを下げることができた。既に掲載している離島については、お客様に選ばれるための見せ方といった販売向上に繋がる手法を専門家の観点から知識の提供ができた。結果、年度内で 1 事業者 2 件の体験掲載に繋がった。

課題

研修実施後、離島によって掲載スピードに差異が発生している。年度内での掲載に至った離島もあるが、未掲載の離島については、運用面でハードルを感じている事が要因として挙げられるため、少しでもハードルを下げ次年度の掲載に繋げる事ができるよう、事務局で引き続き支援を行っていく。

第4章 自走化に向けた取り組み

第5節 旅行会社などによる視察及びマッチング

第1項 目的

各離島で造成したツアーや体験プログラムを、旅行会社等とマッチングを行い、自主販売に結びつける事を目的とする。

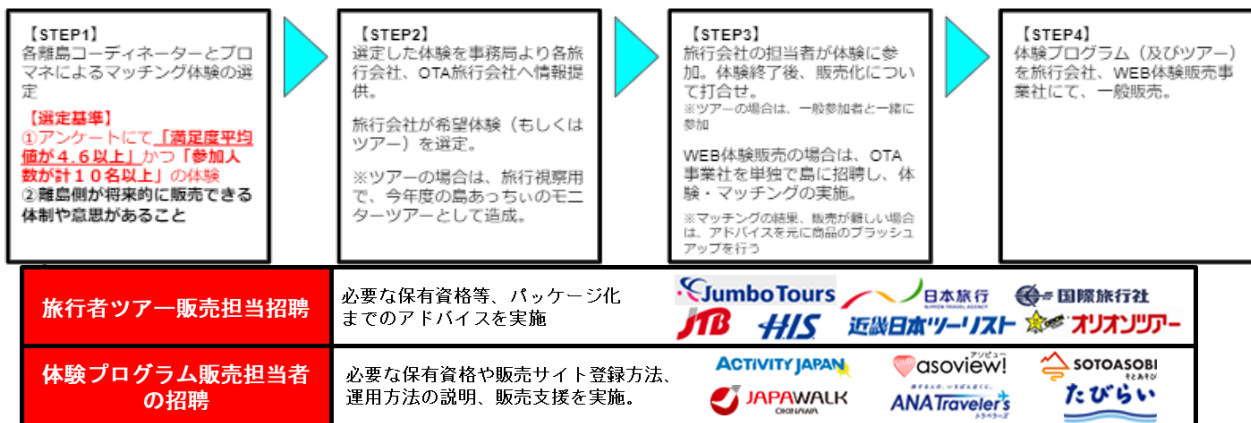
第2項 実施概要

各離島がこれまでに造成したモニターツアーや体験プログラムの中で、参加者アンケートの結果にて高い満足度を得た観光商品の情報を旅行社等へ提供し、相互のマッチングを図る。また、商品販売に至らなかった場合は、旅行会社やOTAサイトの視点で、自走化に向けたアドバイスをいただき、今後のモニターツアーにフィードバックしていく。

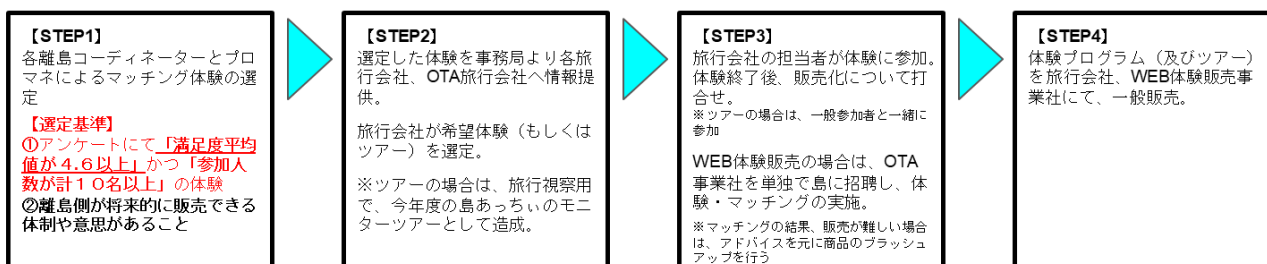
※OTA サイトとはインターネット上で取引を行う旅行会社、又はアクティビティ予約会社のこと。Online Travel Agent の頭文字の略。

実施イメージ

○実施内容及びフロー



○実施内容及びフロー



第4章 自走化に向けた取り組み

第3項 実績

■現地視察

実績.1

離島名	伊是名島
日付	令和3年3月16日(火)
コーディネーター	いぜな島観光協会 宮城
参加者	(株)国際旅行社 商品仕入れ担当者
視察内容	・現地商談、試体験(尚円王歴史ツアー)、飲食店・民宿視察
総括	【①造成にあたっての課題】 ・緑ナンバー車両が無く取得も困難 ・マリン事業者(Luana)は個人で行っているため、シーサーステッカーの取得が困難 【②改善策(フィードバックを行った点など)】 ・試体験を行ったツアーについて、緑ナンバーが無い代替案として、参加者はレンタカーを使用し、トラベルイヤホンなど無線でやりとりができる方法がないか検討を行う 【③旅行社所感】 ・緑ナンバー車両の問題が一番の懸念材料となる ・貝殻細工など室内でできるものがあるのがよい
販売予定時期	令和3年5月～9月、令和3年1月～4月

実績.2

離島名	伊是名島
日付	令和3年3月16日(火)
コーディネーター	HY マリン 比嘉
参加者	(株)国際旅行社 商品仕入れ担当者
視察内容	・現地商談、試体験(島内観光、グラスボート、ナイトツアー)
総括	【①造成にあたっての課題】 ・緑ナンバー車両が無く取得も困難 ・星空観察の実施内容、曇りや雨天時の代替案 【②改善策(フィードバックを行った点など)】 ・星空観察の内容をもう少し充実できるよう相談をする 【③旅行社所感】 ・サイクリングの際の保険確認が必要 ・グラスボート、星空観察、サイクリング、集落散策など内容が充実しておりツアー造成を行い易い
販売予定時期	令和3年5月～9月、令和3年1月～4月

第4章 自走化に向けた取り組み

実績.3

離島名	伊平屋島
日付	令和3年3月16日(火)
コーディネーター	伊平屋島観光協会 横溝
参加者	(株)国際旅行社 商品仕入れ担当者
視察内容	・現地商談、試体験(島内観光、SUP体験)、飲食店・体験施設・民宿視察
総括	<p>【①造成にあたっての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑ナンバー車両が無く取得も困難 ・琉球歴史や伝説、神話などのテーマを話せるガイドが少ない ・マリンの雨天時の代替案 <p>【②改善策(フィードバックを行った点など)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑ナンバーの車両問題は要検討 <p>【③旅行社所感】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑ナンバーの車両の問題が一番の懸念材料となる ・歴史などを専門にしたガイドをしてもらうことが可能か相談を行う ・伊是名島が新型コロナウイルス感染症対策を徹底しており、伊平屋島はどうしているか確認する ・マリントアに関してはすぐに造成可能
販売予定時期	令和3年5月～9月、令和3年1月～4月

実績.4

離島名	伊江島
日付	令和3年3月10日(木)
コーディネーター	伊江島観光協会 喜屋武
参加者	(株)国際旅行社 商品仕入れ担当者
視察内容	・現地商談、島内景観案内、飲食店・民宿視察
総括	<p>【①造成にあたっての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風、欠航時の代案、旅費の設定、リゾートプランとの差別化 <p>【②改善策(フィードバックを行った点など)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>【②行社所感】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊江島は城山がシンボルとして認識されており認知度が高いが、実際に行った経験がある県民は多くはないため、島のできる事と、伊江島らしい時間をどのようにアピールしていくかがポイントとなる ・担当の返答が早いと、なるべく早い商品化に結び付けたい
販売予定時期	令和3年7月～

第4章 自走化に向けた取り組み

実績.5

離島名	渡嘉敷島
日付	令和3年3月25日(木)
コーディネーター	渡嘉敷村観光協会 田中、渡嘉敷自然塾 池松・金城
参加者	(株)国際旅行社 商品仕入れ担当者
視察内容	・現地商談、島内景観案内、体験施設・民宿視察
総括	<p>【① 造成にあたっての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日帰りプランではなく1泊2日以上プラン希望(可能であれば2泊3日等) ・対象は個人でも問題ないが、日付設定の募集型ツアーで行いたい ・観光協会が設立したばかり+スタッフ1名で運営している。まだ体制が整っていないため、すぐに契約・受け入れは難しい(ツアー内容などによって、受け入れ先の窓口を判断する予定) <p>【③ 改善策(フィードバックを行った点など)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランドオペレーターの資格はあるが、緑ナンバーがなく移動の問題点あり <p>【③ 旅行社所感】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海ごみプロジェクト《MANATII》に登録している事業者もあり、環境についての意識は高い ・エコツアーやSDGsをテーマにしたツアー作成が見込める (島内案内をしていただいたコーディネーターもエコツアーに大変前向きな意見) ・スムーズに話が進めば早く商品化に結び付けられそうな印象 ・透明度の高い海でのカヤックはとても魅力的だと感じた
販売予定時期	令和3年5、6月(受け入れ窓口が決定次第)

実績.6

離島名	粟国島
日付	令和3年3月23日(火)～24日(水)
コーディネーター	粟国村観光協会 四方
参加者	(株)国際旅行社 商品仕入れ担当者
視察内容	・現地商談、島内景観案内、飲食店・民宿視察
総括	<p>【① 造成にあたっての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランドオペレーター資格保有の問題 ・フェリー欠航、時間変更の場合の連絡について <p>【② 改善策(フィードバックを行った点など)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オプションツアーが豊富でよい ・マリンスポーツでなくても楽しめる <p>【④ 旅行社所感】</p> <p>粟国島自体がまだメジャーな観光地ではないため、逆にお客様に選ばれる島になるのではと考える。まず日帰り旅行から造成し販売していく予定。</p>
販売予定時期	令和3年4月～

第4章 自走化に向けた取り組み

実績.7

離島名	西表島（東部）
日付	令和3年3月10日（水）
コーディネーター	motti 西表島
参加者	(株)国際旅行社 商品仕入れ担当者
視察内容	・現地商談、試体験（ナイトエコツアー）、体験施設・民宿視察
総括	<p>【① 造成にあたっての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区担当の望月氏に依頼をすればワンストップで手配可能だが、ランドオペレーターの資格はないため、各施設での契約が必要 ・緑ナンバーの保有がないため、移動方法について要検討 <p>【②改善策（フィードバックを行った点など）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>【② 旅行社所感】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人型（1名～）で販売可能 ・大原港から近いので交通の便が良い ・石垣港でレンタルできる電動キックボードを使った商品造成も見込める ・宿泊した竹盛旅館は大変清潔感があり、感染対策もしっかり行っていた
販売予定時期	令和3年6、7月～

実績.8

離島名	西表島（祖納地区）
日付	令和3年3月9日（水）
コーディネーター	西表アイランドホテル 上亀
参加者	(株)国際旅行社 商品仕入れ担当者
視察内容	・体験事業者・フェリー事業者・交通事業者と現地商談、島内景観案内
総括	<p>【① 造成にあたっての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランドオペレーター資格は保有無し <p>【② 改善策（フィードバックを行った点など）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祖納地区は上原港が最寄りだが、欠航率が高いため大原港利用で検討する <p>【③ 旅行社所感】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日付を設定したツアーを希望、2泊3日が望ましい ・ツアー参加人数は最大16名までが望ましい（バス移動）、トップシーズン以外で商品造成希望 ・浦内川観光のカヌー体験やトレッキングコース等、体を動かすアクティブプランメインのコース造成も可能となる ・集落散策や民具づくり等各プログラムで担当者が違うため、祖納地区の複数の方と交流ができる
販売予定時期	令和3年11月～

第4章 自走化に向けた取り組み

実績.9

離島名	西表島（白浜地区）
日付	令和3年3月10日（水）
コーディネーター	海人の家 鄭
参加者	(株)国際旅行社 商品仕入れ担当者
視察内容	・現地商談、民宿視察
総括	<p>【① 造成にあたっての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人型での販売は難しい（グループ向け） ※一般募集をするならば、テーマ性をもったツアー内容作成が必須 ・地域の方との日程調整もあるため、日付設定がスムーズにいかない可能性もある ・コース内容も都度変わる可能性有 ・サバニ体験の場合は潮流が重要になるため、できなかった場合の代案を検討する必要有 <p>【② 改善策（フィードバックを行った点など）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>【③ 旅行社所感】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最低でも2泊3日が望ましい ・学習、社会性のあるツアーニーズが見込まれる ・学生や社会人グループ・会社などのチームビルディング向け（サバニ漕ぎ体験では、チームの団結力UP+達成感が得られる）
販売予定時期	要検討

実績.10

離島名	黒島
日付	令和3年3月11日（木）
コーディネーター	島宿南来 久貝
参加者	(株)国際旅行社 商品仕入れ担当者
視察内容	・現地商談、民宿視察
総括	<p>【① 造成にあたっての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行シーズン10月～3月以外の商品化を希望 <p>【② 改善策（フィードバックを行った点など）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>【③ 旅行社所感】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクル、タクシー事業も行っており、移動手段に関しては問題なし ・現在ランドオペレーターの資格はないが、取得予定 ・ワンストップで手配が可能のため進めやすい。早めの商品化に結び付けられそう ・他の島に比べて建物も少なく何も無いが、ゆっくり過ごしたい方向けに販売できそう
販売予定時期	令和3年5月～6月頃

第4章 自走化に向けた取り組み

実績.11

離島名	与那国島
日付	令和3年3月15日(月)
コーディネーター	与那国町観光協会 入米蔵
参加者	(株)国際旅行社 商品仕入れ担当者
視察内容	・体験事業者と現地商談、島内景観案内、民宿視察
総括	<p>【①造成にあたっての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設や食事処の受入状況により10名以上のシリーズでのツアーは難しい <p>【③善策(フィードバックを行った点など)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちまんま(乗馬体験)では夕日を見る体験をやってみたいとのこと。前もってスケジュール調整、夕日を見る場所の管理地の確認など、観光協会と密に調整ができると良いという話があった ・フラダンス体験について、なぜ与那国島でフラダンスというストーリーが見えると良いという話をお伝え ・島全体を案内してくれるガイドを観光協会で確保、育成するとなお良い(有料にて) <p>【④旅行社所感】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のんびりとした空気管と風光明媚な景色、自然とを感じられる「癒し」「ノンストレス」「心のリセット」のようなイメージで小グループ(10名以下)商品を充実させると良い
販売予定時期	令和3年6、7月～

実績.12

離島名	小浜島
日付	令和3年3月11日(木)
コーディネーター	星空探検隊なちゅら 中村
参加者	(株)国際旅行社 商品仕入れ担当者
視察内容	・現地商談、民宿視察
総括	<p>【①造成にあたっての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ性をもったツアー造成必須(家族向けやネイチャーをテーマにしたツアー等) ・移動方法について要確認 <p>【②改善策(フィードバックを行った点など)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>【②旅行社所感】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネイチャーガイド、星空観察、学びを主にしたツアー内容、安全管理マニュアルあり ・民宿について、冬場は業者の宿泊予約が多いため、設定時期要確認。基本的に素泊り・朝食付きプランで提供しており、夕食は提携先の居酒屋やお食事処を当日紹介
販売予定時期	令和3年6、7月～

第4章 自走化に向けた取り組み

第4項 成果

今年度の成果としては下記の通り。

離島名	種別	販売数 (件)	体験・ツアー名 (販売先での掲載名称)	販売先	販売先情報
西表島 (東部)	旅行社	1	星空観察 (ナイトツアーコンテンツ)	JTB	令和3年上期 ツアーパンフレット掲載
久高島	旅行社	1	島内散策	中央ツーリスト	日帰りツアー販売 (令和2年12月29日出発)
渡嘉敷島	旅行社	1	カヤック体験	ANA セールス	令和3年上期ツアーパンフレットのオプション販売掲載 (全国の北海道～九州のJTB店舗で展開予定)
渡嘉敷島	OTA	1	ビーチクリーン	ふるぽ (ふるさと納税)	ふるぽ WEB サイト
渡名喜島	OTA	6	①ちまき作り ②島にんじんゼリー作り、 ③となきのおやつ作り ④もちきびちんすこう作り、 ⑤集落ガイド ⑥集落&外周ガイド	自社 WEB サイト	渡名喜村観光協会 WEB サイト
座間味島	OTA	2	①【沖縄・阿嘉島】ノルディックウォーキングで3島アイランドホッピング! 1組限定、初心者歓迎! ②【沖縄・座間味島】ノルディックウォーキングで南国の鮮やかな風景を歩こう! 1組限定、初心者歓迎!	アクティビティ ジャパン	アクティビティジャパン内 座間味村観光協会ページ
粟国島	旅行社	2	日帰りでのツアー販売	国際旅行社	【日帰りツアー販売】 令和3年4～10月 ※4月上旬に新聞広告予定、国際旅行社 WEB サイトでも販売予定
合計	—	14	—	—	—

※久高島は、株式会社ジャンボツアーズによる一般県民向けツアーを造成(マッチングは未実施)

以下掲載例

【座間味島】



第4章 自走化に向けた取り組み

第5項 総括

成果

今年度は、前年度の事前の諸条件のすり合わせの課題解決や、新型コロナウイルス感染症の影響で離島への移動が困難な状況もあり、今年度初めてWEB形式での商談を取り入れた。結果、3社の旅行社より要望を頂戴し、合計24回の商談を実施。渡航自粛が解除となった年度末には、12離島での現地視察へと繋げることができた。

結果、年度内で1離島2件の商品造成に繋がった。視察を実施した離島については、次年度早い段階での商品造成を予定しているため、引き続き次年度の自走化に向けて支援を行う。

課題

視察予定の旅行社が他にもあったが、新型コロナウイルス感染症の影響で実施ができなかった。次年度では早い段階(5月頃)からのマッチング実施を目標とし、年度内での視察、造成に繋げていく。

第4章 自走化に向けた取り組み

第6節 その他事例（ツーリズム EXPO ジャパン）

第1項 目的

イベント会場にて島あっちいブースを出展し、旅行社マッチングの促進・機会の提供を目的とする。旅行社バイヤーやイベント来場者のターゲットに合わせて、ファムツアーやマッチング、島あっちいモニターツアーの紹介など、営業活動を実施し、島あっちい事業終了後を見据えた営業活動を支援・促進する。

第2項 実施概要

ツーリズム EXPO ジャパンへのブース出展および、旅行社マッチング、来場者へのモニターツアー紹介。

◆イベント開催概要

日程：令和2年10月29日(木)～11月1日(日) 4日間

1日～2日目 業界・プレス日

3日～4日目 一般日

会場：沖縄コンベンションセンター展示棟

主催：公益社団法人日本観光振興協会（JTТА）

一般社団法人日本旅行業協会（JATA）

日本政府観光局（JNTO）



第3項 実施内容

◆1日～2日目

島あっちい事業に参画している全離島に対して、イベント参加事業者を募集。結果、以下の3事業者がブース出展および、旅行社とマッチング商談会を実施した。

【参加離島】

- ① 黒島（ルート黒島）
- ② 南大東島（南大東村観光協会）
- ③ 西表島 白浜地区（海人の家）

◆3日～4日目

イベントに来場している一般参加者に向けて、島あっちいをPRおよび、メルマガやSNS会員の獲得。

第4章 自走化に向けた取り組み

第4項 成果

◆1日～2日目

黒島「20」旅行社、南大東島「20」旅行社、西表島白浜「20」旅行社とのマッチング商談会を実施。

1日目 10月29日(木)			
	黒島	南大東島	西表島 白浜
15:15-15:30 セッション 1	名鉄観光サービス	名鉄観光サービス	クラブツーリズム
15:45-16:00 セッション 2	名鉄観光サービス	日本旅行	読売旅行
16:15-16:30 セッション 3	日本旅行	名鉄観光サービス	名鉄観光サービス
16:45-17:00 セッション 4	読売旅行	日本旅行	ワールド航空サービス
17:15-17:30 セッション 5	-	クラブツーリズム	JTB
2日目 10月30日(金)			
09:00-10:00 フリーセッション	-	-	クラブツーリズム
10:00-10:15 セッション 6	JTB	クラブツーリズム	-
10:30-10:45 セッション 7	クラブツーリズム	東武トップツアーズ	JTB ガイアレック
11:00-11:15 セッション 8	クラブツーリズム	読売旅行	日本旅行
11:30-11:45 セッション 9	名鉄観光サービス	エイチ・アイ・エス	クラブツーリズム
12:00-12:15 セッション 10	名鉄観光サービス	阪急交通社	日本旅行
12:30-12:45 セッション 11	日本旅行	クラブツーリズム	阪急交通社
13:00-13:15 セッション 12	KNT-CTウエブトラベル	東武トップツアーズ	名鉄観光サービス
13:30-13:45 セッション 13	ワールド航空サービス	クラブツーリズム	九州旅客鉄道
14:00-14:15 セッション 14	阪急交通社	-	IACEトラベル
14:30-14:45 セッション 15	クラブツーリズム	日本旅行	-
15:00-15:15 セッション 16	九州旅客鉄道	ワールド航空サービス	KNT-CTウエブトラベル
15:30-15:45 セッション 17	JTB	KNT-CTウエブトラベル	JTB
16:00-16:15 セッション 18	クラブツーリズム	阪急交通社	阪急交通社
16:30-16:45 セッション 19	読売旅行	東武トップツアーズ	旅工房
17:00-17:15 セッション 20	エイチ・アイ・エス	名鉄観光サービス	日本旅行
17:30-17:45 セッション 21	阪急交通社	JTB ガイアレック	名鉄観光サービス

◆参加離島の声

<黒島（ルート黒島）>

「何も無いがある島」に興味を持ってくれる事業者もあり、持参したパンフレットで十分に説明ができた。

関係事業者（マリンアクティビティ）も同席したので、より具体的に伝えられた。

<南大東島（南大東村観光協会）>

前年度参加した大阪のEXPOよりも断然、今回の方が手ごたえを感じた。

<西表島 白浜地区（海人の家）>

ツアー造成は今年度初めての取り組みだが、相手の反応を見ながら地域の特性の詳細を細かく伝えることができ、独自の尖ったプランに興味を持っていただける機会となった。大変有難かった。

第4章 自走化に向けた取り組み

◆ 3日～4日目

新規メルマガ会員

361件獲得

【一般参加者の声・所感】

- ・ 島あっちいを知らない参加者も多数
- ・ モニターツアーに対してピンとこない人が多かった
- ・ 交通、宿泊、アクティビティを含んでいることを伝えたら興味を持っていただけた
- ・ 若者の反応が良かった
- ・ 以前、島あっちいに参加したことがあるが、今年もやっていることを知らない参加者も多数
- ・ コロナの影響で中止だと思っている人も多く、もしくはコロナ期間中サイトに訪ねてきたがプランがなかった
- ・ ツアー申し込みまたは当選したのに、定員未満や天候不良中止で行けなかったことを伝えに来た来場客が数人いた(クレームではなくて、ものすごく残念そう)
- ・ 中止したツアーもしくは島が再開した時に何かしら情報発信した方が良い
- ・ 小さなお子さんが抱えているご家族、子どもが参加できるプランがないか質問する方も数組あり
「離島へ行きたいけど、小さい子どもがいるので動けない」など

◆ 当日の様子

<1日～2日目>



<3日～4日目>



第4章 自走化に向けた取り組み

第5項 総括

成果

今年度、新しい取り組みとして行った施策だったが、数多くの旅行社との商談に繋げることができた。参加離島にとっても、旅行社と顔を合わせての商談の時間を設けることができたため、自身が保有している体験商品の魅力を伝えるよい機会となった。また、多くの旅行社との繋がりを持つことができ、EXPO に参加した以外の離島との旅行社とのマッチングにおいても、多くの販売担当者に広く声かけを行うことができた。この機会に培った関係性を、次年度のマッチングでも活かしていく。

課題

数多くの旅行社と商談を行ったが、商談時間が30分と限られており、具体的な造成や契約に至った事例はない。しかしながら、その後事務局を介してWEB商談に至っている事例もあるため、引き続き事務局から旅行会社へアプローチを行う。